

『授業を見直そう～みんなが輝く、生き生きとした会話授業を！』

2025年サタラボ第2弾は、語り合うために「読む」教材を取り上げます。皆さんは、学習者に話す力をつけてもらうため、どんな授業をしていますか。毎回、フリーカンバセーションだとなんだか上達が感じられない。では、どんなテーマで話せば話が盛り上がるのかが悩みの種になっていませんか。毎回同じようなテーマになりマンネリ化していませんか。学習者は自分の話す力に満足しているのでしょうか。自分の得意分野なら自信があるけれど…と感じていないのでしょうか。年齢差のある学習者とは興味が全く違って話が盛り上がらない、上っ面の無難な意見しか出なくて深い議論にならないということはありませんか。

「話す力」をつけるため、私たち教師にはどんなことができるでしょうか。学習者自身が情報を得て他者に伝え、自分の意見を言い、自信をもって発表する。話せることを増やし、教師が口を挟まなくてもどんどん意見が出る。そんなクラスが理想的なんだけど…そう感じるが多々ありました。加えて達成感や満足感を感じてもらうには、少々、ハードルが高く、ふだん話さないようなテーマを提示してみるのもいいのではないかと、ではどんなテーマがいいだろうと私も長年もがいてきました。会話授業のテーマは長年私の悩みの種でした。

私は今回のテーマ教材『読む』からはじめる日本語会話ワークブック』(アルク)が昨年5月に出版されてから、学習者に楽しくディスカッションしてもらうために使わせてもらっています。テキストには万国共通の10のテーマがあります。「ルール」、「見た目」、「正義」、「普通」などですが、実際にグループレッスンで使ってみると意見が飛び交い、あっという間に時間が経ちます。10のテーマが終わる頃には、私もこのテキストに倣い、学習者に合わせたテーマと話すために読む情報を提供することができるようになりました。すると、学習者たちも自主的にテーマと情報を提供してくれるようになりました。

今回のサタラボでは、この優れたテキストの著者のおひとり、森勇樹さんが皆さんを前に模擬授業をしてくださいます。皆さんはまず学習者体験を楽しんでください。その後、教材の使い方など教師としてアイデアを出し合しましょう。現在は、在日米国大使館・日本語研修プログラム主任教官の森さんはアゼルバイジャン共和国、マレーシアでの教師経験もあります。懇親会でもぜひいろいろ聞いてみてくださいね。

【講師・森勇樹さんからのことば】

会話の授業を担当したのに、学習者の発話をうまく引き出せなかった、学習者に興味を示してもらえなかった、授業後に振り返ってみると結局自分の発話量が一番多かった、などの経験はございませんか。私はあります！(苦笑)今回は学習者も自分も楽しめる会話授業を一緒に考えましょう。みなさんからのインプットを楽しみにしております！

日時: 2025年3月29日(土)9:00-12:00 開場 8:45 懇親会: 12:15-14:00(希望者のみ参加)
会場: Glocal Point 青山 <https://glocalcafe.jp/aoyama/#access>

対象者: 日本語教師・日本語ボランティア教師&日本語教育関係者、他 (定員: 先着 40名)
申込フォーム: 右のQRコード、下のリンクよりフォームにアクセスできます。



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc1jctCGfZYKKYs7FgBeep6Rz9IBzdUkaFFtxDMZNVqFSZNg/viewform?usp=dialog>

お申し込み後、振込先をお知らせします。お振込完了後、正式にお申し込み受付完了となります。

参加費: 4,000円 (当日キャンセルの場合はご返金できません) 懇親会費: 1000円 (当日現金払い)

主催: サタラボ【代表】小山暁子 お問い合わせ: stalabo1@gmail.com【事務局】伊藤・森谷智美・渡辺倫弥